

創作テレビドラマ大賞

あなたに ドロップキックを

秋子（イモトアヤコ）は婚約者・小林（高橋光臣）から、「本当に好きな人が幼なじみだとわかった」と告げられて突然婚約を破棄される。路上でランニング中の名波モモ（悪斗）と鉢合わせした秋子は、モモの繰り出すドロップキックにみいられてジムに通い始める。女子プロレスの悪役であることを恋人に言えないモモの背中を押しながら、いつしか秋子の中に、自分はいつまでも他人の人生の脇役で良いのかという思いが芽生えていた。無神経にまとわりつく小林に初めて怒りをぶつける秋子。そして車内で卑劣な痴漢行為を発見したとき、ついに秋子のドロップキックが炸裂する――。



「創作テレビドラマ大賞」とは？

日本放送作家協会とNHKが共催するテレビドラマのオリジナル台本を対象としたコンクールで、脚本家の登竜門として知られる。NHKでは毎年大賞受賞作品をテレビドラマ化してきた。今回映像化される『あなたにドロップキック』は、前年を100編以上上回る999編の応募作から選ばれた。

平成29年 3月17日（金）総合テレビ 夜10:01~10:50（49分）

【作】中谷典子（第40回「創作テレビドラマ大賞」受賞作）
【出演】イモトアヤコ、悪斗、尾上寛之、高橋光臣 ほか
【演出】榎戸崇泰（NHKエンタープライズ）
【制作統括】陸田元一（NHKエンタープライズ）、中村高志（NHK）



【お問い合わせ】 広報部 竹中順一 TEL: 03-5455-2452

番組広報資料
2017年2月

完成したドラマを見た時、嬉しくてたまらなかったです。筆舌に尽くしがたい気持ちというのは、こういう感覚なのだと思います。「創作テレビドラマ大賞」へ応募するために、脚本を書いていた時、ドラマは私の頭の中だけで動いていて、それ以上の広がりや想像もしていませんでした。映像には立体感と奥行きがあって、感動しました。画面からは、脚本で書き切れなかった主人公の感情や、登場人物たちの生命力の強さが画面から伝わってきて、興奮しました。「あなたにドロップキックを」に関わってくださった、すべての皆様に、ただただ感謝しています。何も考えず必死で書いていた脚本を映像にさせていただき、本当にありがとうございました。

読んで面白く可笑しい脚本だったから

演出 榎戸崇泰 (NHKエンタープライズ)

読んで面白く可笑しい脚本だったから、見て面白く可笑しいドラマにしたいと思ったのが、私の出発点でした。主演のイモトアヤコさんには、主人公・秋子をのびのびと、且つ大まじめに演じてほしいと伝えました。イモトさんは文句なしの演技で、十二分に応えてくれました。

演出としては、いまここでの秋子の、あるがままを、本気で観つめつづけたつもりです。結果、大まじめだからこそ共感できる、大まじめだからこそ笑える、大まじめだからこそ泣けるドラマが誕生したと思っています。

どうぞお楽しみください。

ドロップキックに導かれて

制作統括 陸田元一 (NHKエンタープライズ)

プロレスのことを知らない私は、「技」は一方向的に「かける」ものだと思っていました。しかし悪斗さんに話を聞いて、技は受け手があって初めて成立すること、受け損なうと技をかけたほうが怪我をしかねないことを知りました。つまりレスラーは、実は「技」を通じて濃密なコミュニケーションをしているのです。だとするとドロップキックが出来るのは、ある意味素敵なことのようにも思えてきます。ちなみに脚本の中谷さんは悪斗さんの「顔面陥没」の記事でプロレスに興味を持ったそうで、これも何かの縁でしょう。そしてどこかずれた人間関係しか築けなかったヒロインの再出発を、まさに「体当たり」で演じ切ってくれたイモトアヤコさんに感謝！

登場人物



秋吉秋子 / イモトアヤコ

30歳、独身の看護師。患者として知り合った小林から突然婚約を破棄され、人生のどん底に。



名波モモ / 悪斗

同じく30歳の悪役プロレスラー。恋人の大森にプロポーズされたが、本当の仕事を伝えられずに悩む。



大森 守 / 尾上寛之

モモの恋人。秋子の病院に入院したのが縁で、それと知らずにモモのプロレスの試合に連れ出される。



小林健二 / 高橋光臣

秋子の元婚約者。一方向的に婚約を破棄しながら、謝りたいとつきまとって秋子を苦しめるKY男。